

# 1. 御嶽山噴火における人的被害の主因：噴石

火口周辺約1km以内  
ごく普通の登山者が犠牲



剣ヶ峰 32名の方々の  
登山道 26名の方々の  
火山におけるハザード

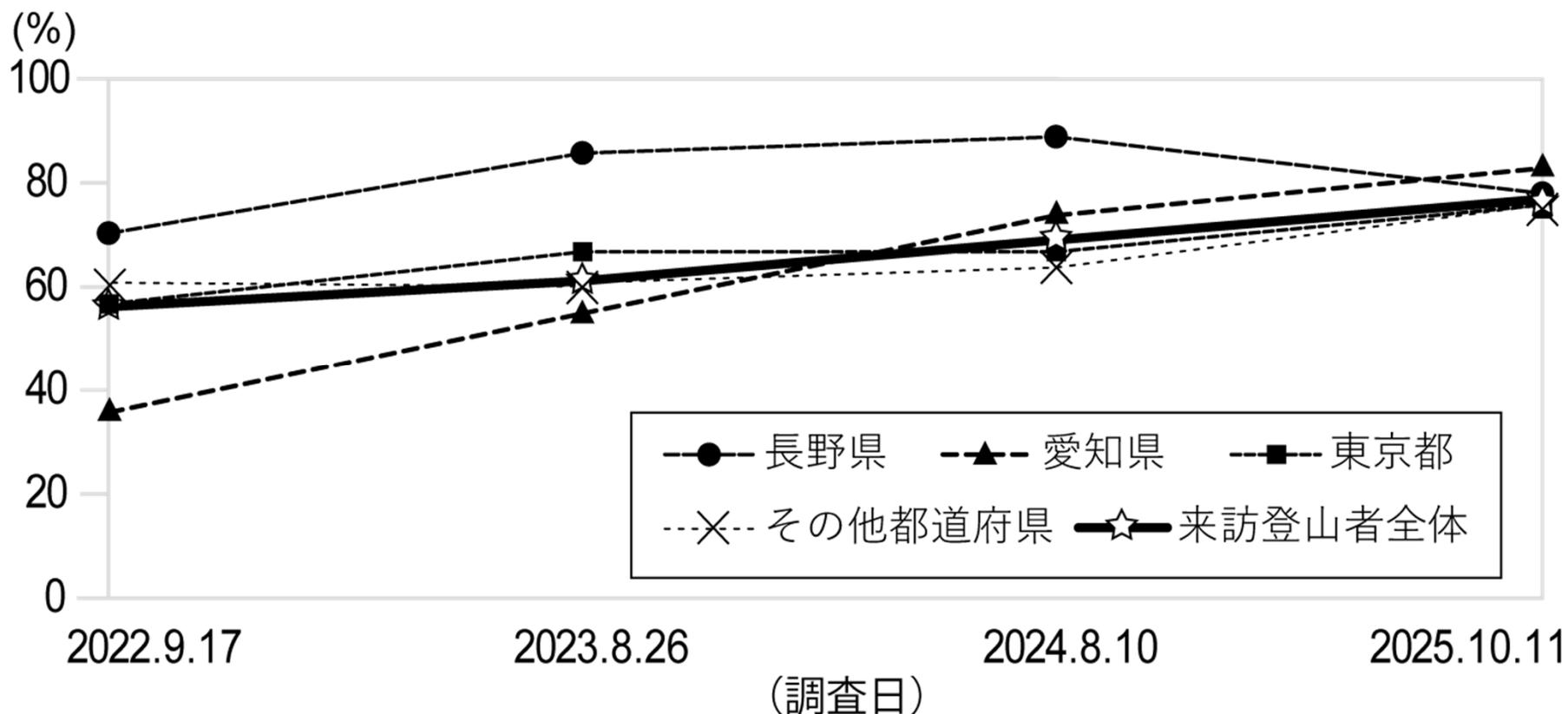
御嶽山2014年9月27日AM11:52  
**突然の（水蒸気）噴火**

**噴火後1～2分**

**噴石・降灰、火砕流、  
人にとって高温の火山ガス**

名古屋大学御嶽山火山研究施設 金 幸隆

## 2. 来訪登山者の居住地別ヘルメット持参率の推移 (2022-2025年)



### 3. 登山者参加型避難訓練観察結果： 登山道における避難訓練の様子



岩陰に隠れる



慌ててヘルメットを被る

→ 初動の遅れと迷いが観察される



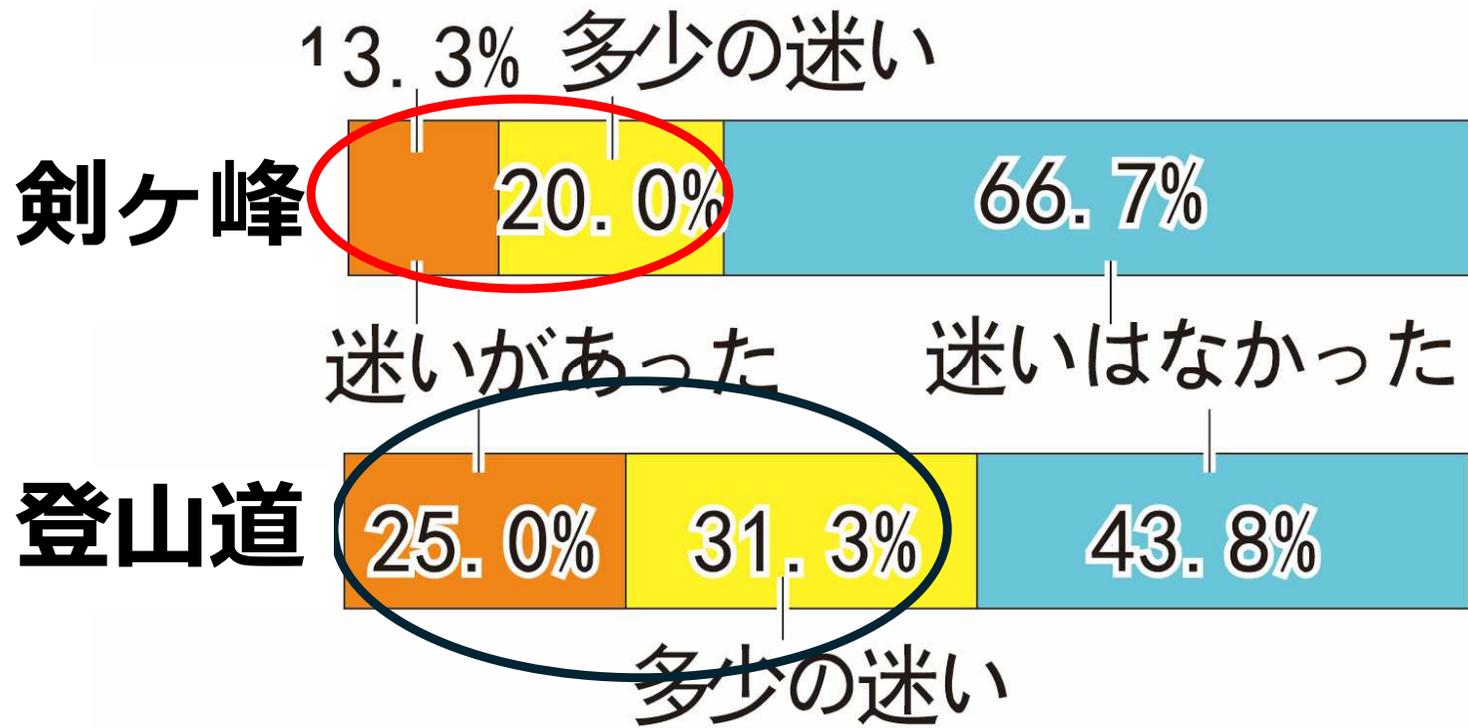
その場に留まる



戸惑う

登山を続ける

# 4. アンケート調査：認知・行動に『迷い』



約3割が「迷い」

半数以上が「迷い」

$\chi^2(2) = 12.57, p=0.002$  (P < .001)

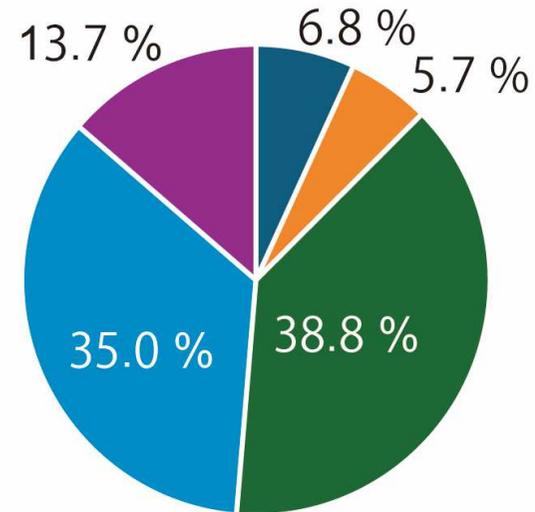
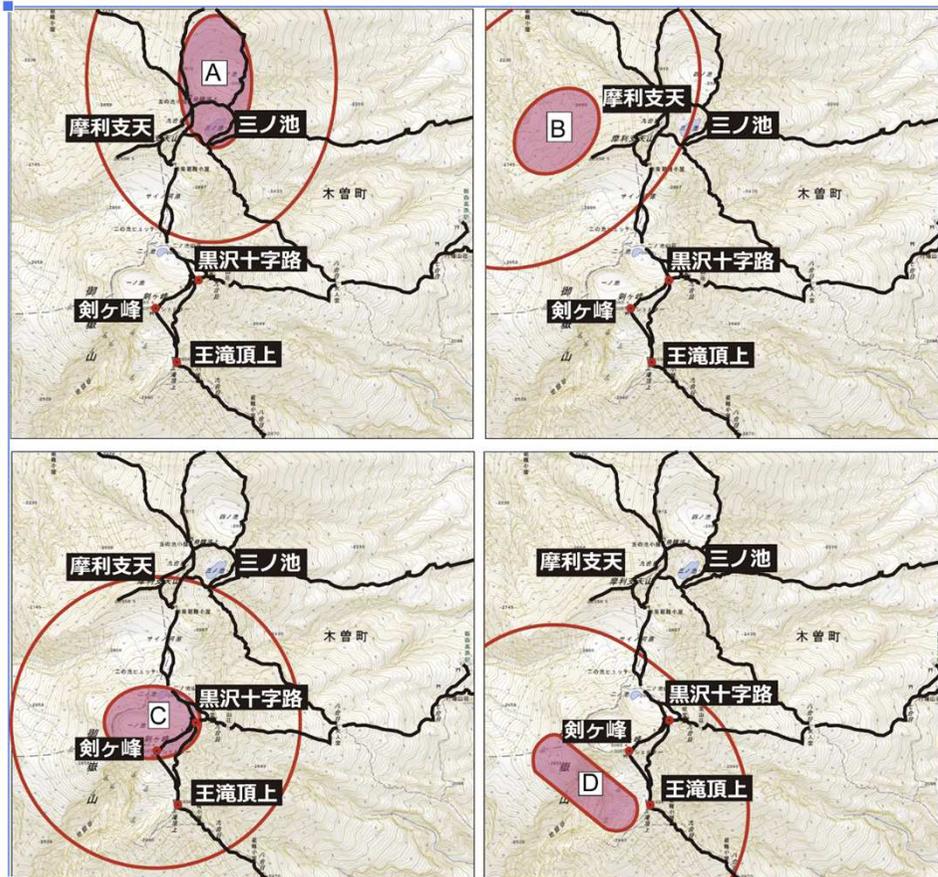
→ 進路判断の誤認・避難行動の遅れにつながる可能性



## 6. 地獄谷想定火口域の位置の認知度 ※噴火警戒レベルの対象火口

問い：A～Dから正しい火口の位置を選んでください。

正解は画像D、正解率は35%.



→火口の位置に関する理解が限定的